



二次元バーコードは  
製造用コードです。

## 据付手順

- |                       |  |                      |
|-----------------------|--|----------------------|
| <b>STEP 1</b> 安全上のご注意 | <b>STEP 4</b> 室内ユニットの据付け                             | <b>STEP 6</b> 必要なときに |
| <b>STEP 2</b> 付属部品の確認 | <b>STEP 5</b> 室外ユニットの据付け                             | <b>STEP 7</b> 試運転と確認 |
| <b>STEP 3</b> 据付場所の選定 | ◆室外ユニットの据付けについては、マルチ<br>室外ユニットに付属の据付説明書に従って<br>ください。 |                      |

## STEP 1 安全上のご注意 必ず守ってください

- ◆据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据え付けてください。
- ◆据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

◆本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。



### 警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容。

- 配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。  
(発熱や感電、火災の原因)
- エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内にR32以外の空気などを混入させない。  
(空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)
- 指定冷媒(R32)以外は使用しない。  
(機器の故障や破裂、けがなどの原因)
- 調理室など油煙の多い所、または可燃性ガス、腐食性ガスや金属製のホコリのある場所には据え付けない。  
(水漏れや火災、故障の原因)
- 可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。  
(ひび割れや感電、引火の原因)
- 室内外ユニット間および電源の配線は、内線規程に従って所定の電線を用いて接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。  
(発熱や感電、火災の原因)
- 室内外ユニット間および電源の配線は、閉鎖弁カバーなどが浮き上がらないよう電線を成形し、カバーを確実に取り付ける。  
(端子部の発熱や感電、火災の原因)
- ポンプダウン作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する。  
(圧縮機を運転したまま、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)
- 据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける。  
(冷媒配管が取り付けられておらず、かつ閉鎖弁(バルブ)開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因)
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気し、据付工事完了後は冷媒ガスが漏れていないことを確認する。  
(冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因)
- 配管、フレアナット、工具はR32用、もしくはR410A用のものを使用する。  
(R22の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因)
- フレアナットはトルクレンチなどで指定の方法で締め付ける。  
(締め過ぎると、長期経過後フレアナットが割れ、冷媒漏れの原因)
- 据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。  
(水漏れや感電、火災の原因)
- 据付工事は、付属品および指定の部品を使用し、この据付説明書に従って確実に進行。  
(ユニットの落下や水漏れ、感電、火災の原因)
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に進行。  
(ユニットの落下によるけがの原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、専用回路を使用する。  
(感電や火災の原因)
- 据付工事は、電源を切って行う。  
(電気部品に触れると感電の原因)
- 漏電遮断器を取り付ける。  
(感電や火災の原因)
- アース工事を確実に進行。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。  
(感電や火災の原因)

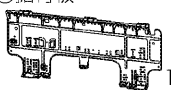









### 注意

軽傷を負うおそれ、または物的損害が発生するおそれがある内容。

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けない。  
(発火の原因)
- 室内外ユニットの吸込口やアルミフィンに触らない。  
(けがの原因)
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所には据え付けない。  
(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙、発火の原因)  
◆お客様に周辺をキレイに保つことをお願いしてください。
- 室外ユニットの天板を外すときは強くにぎらない。  
(鋭利な板金によりけがの原因)
- ドレン工事は、この据付説明書に従って確実に排水するように配管する。  
(屋内に浸水し、家財などをぬらす原因)

# STEP2 付属部品の確認

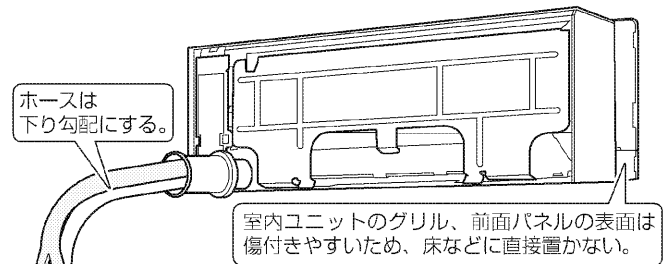
室内ユニット				室外ユニット	
<b>㉔</b> 据付板  1枚	<b>㉕</b> 据付板取付ネジ M4×25L  5本	<b>㉖</b> リモコンホルダー  1個	<b>㉗</b> ワイヤレスリモコン  1個	<b>㉘</b> 室内ユニット固定ネジ M4×12L  2本	<b>◆</b> マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。
<b>㉙</b> リモコンホルダー取付ネジ M3×20L  2本	<b>㉚</b> 乾電池単4  2本	<b>㉛</b> ネジカバー  2個	<b>①</b> 取扱説明書 <b>②</b> 据付説明書 <b>③</b> 保証書 各1部		

# STEP3 据付場所の選定

## 室内ユニット

- 吸込口、吹出口に障害物のない所。
- 近くに熱や蒸気の発生がない所。
- 電子式点灯方式（インバーターまたはラピッドスタート方式）の蛍光灯から出来るだけ離れた所。  
（リモコンの受信距離が短くなる場合があります）
- テレビ、ラジオなどから1m以上離れた所。  
（映像が乱れたり、雑音が生じることがあります）
- 火災警報器から吹出口までが、1.5m以上離れた所。
- 据付所要スペースで示す据付制約が守れる所。

室内ユニットの据付所要スペースについては、STEP4 **D** 据付板を取り付ける を参照。



## 室外ユニット

- ◆ マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

## リモコン

- リモコンホルダーを取り付ける場合は、取付位置で信号が受信されることを確認する。  
部屋に蛍光灯が取り付けられている場合は、蛍光灯を点灯させた状態で確認する。

### 人検知センサーについてのご注意

- 人検知センサーにものをぶついたり、センサーを強く押しついたりしない。
- 人検知センサーの近くにものを置いたり、センサーの検出範囲内に熱を発生する機器や、加湿器などを置かない。

**据付時のご注意**

- カーテンレールなどの上に取り付ける際は、運転時のフラップ可動範囲を確保した上で設置する。

断熱筒を適当な長さに切り、すき間ができないようテープで巻く。

仕上げテープを巻くときは下から上へ巻く。

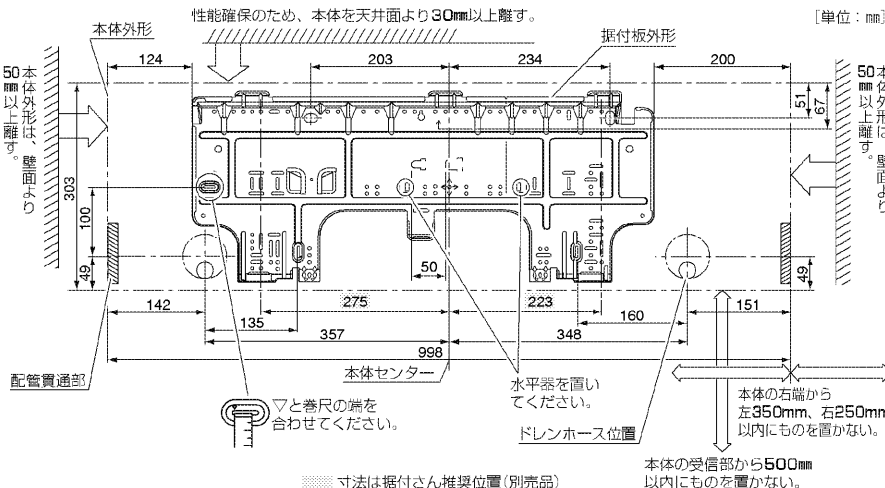
配管長・高低差・据付方法などはマルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

# STEP4 室内ユニットの据付け

据付け前に、室内ユニットの梱包用テープ【青色】を9枚すべて外してください。

## 1 据付板を取り付ける

- ◆ ㉔据付板は室内ユニットの背面にあります。ネジ1本を外してください。
- ◆ ㉕据付板は水平に取り付けてください。

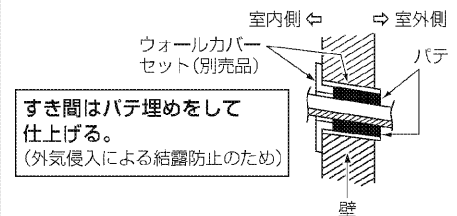


## 2 穴あけについて

**警告**  
特にメタルラス、金属板を使用している壁を貫通させるときは、必ず下記の別売品を使用する。(発熱、感電、火災の原因)

貫通穴径	φ65mm以上
------	---------

- ① 室外側が下り勾配に開ける。
- ② ウォールパイプを穴に通す。
- ③ ウォールカバーをウォールパイプに差し込む。

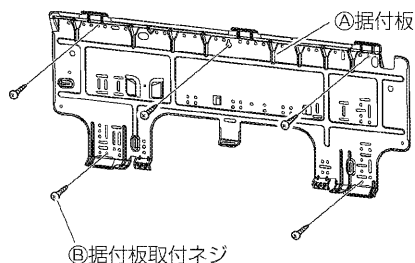


## STEP4 室内ユニットの据付け つづき

### ネジ位置について

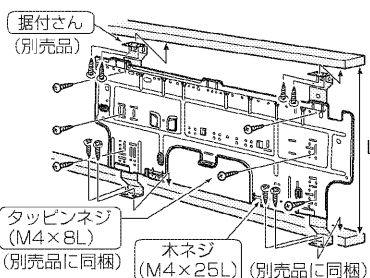
#### 壁に固定する場合

ネジ取付例の位置にネジ止めすることを推奨。



#### 回り縁と鴨居に取り付ける場合

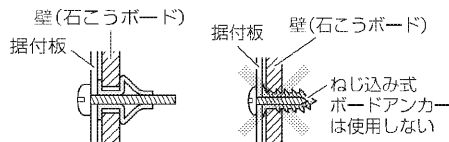
別売品の据付さんを用意すること。



◆寸法Lは、420～700mmまで調節できますが、420mm以下の場合には、据付さんを切って調節してください。

### 石こうボードについて

- 石こうボードに直接取り付ける場合、適切な固定具を選択し、使用方法をよく確認した上で使用する。
- ◆ねじ込み式ボードアンカーは使用しないでください。極端に保持強度が落ちる場合があります。
- ◆付属の③据付板取付ネジは使用しないでください。

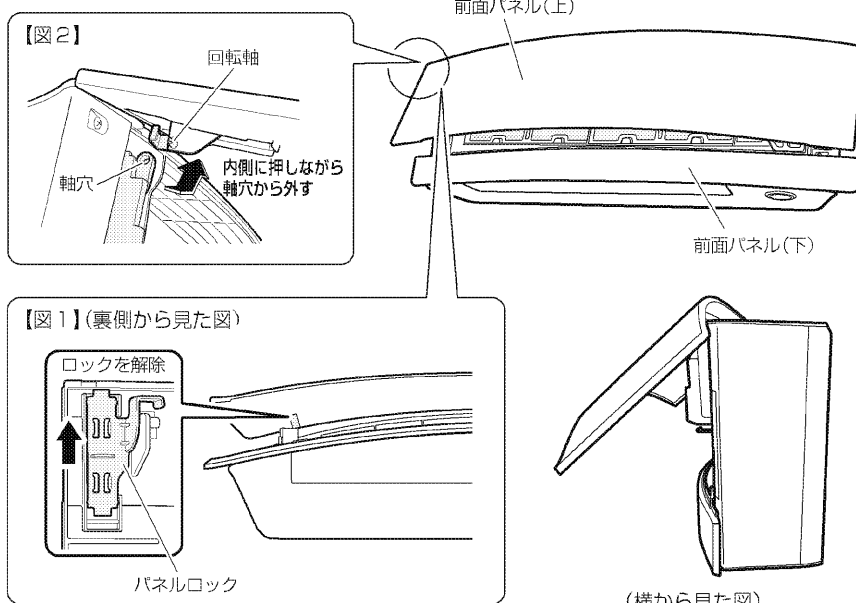


石こうボードへの取付例  
(カザ式ボードアンカー使用)

## 2 前面パネル(上)を取り外す

**注意** 前面パネル(上)はイラストの位置までしか開きません。破損のおそれがあるので、無理に開けないでください。

1. 前面パネル(上)を開ける。
2. パネル裏面のロックを上へスライドして解除する。  
(左右2カ所)【図1】を参照。
3. 前面パネル(上)を取り外す。【図2】を参照。  
①左右の回転軸を内側に押しながら軸穴から外す。  
②そのまま前面パネル(上)を取り外す。



(横から見た図)

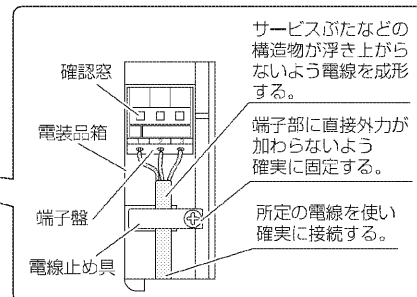
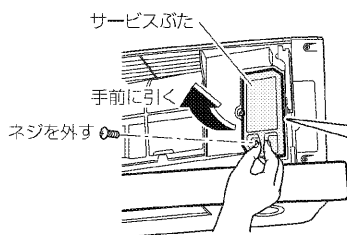
## 3 電線を接続する

1. サービスぶたを取り外す。
2. 連絡電線を室内ユニット背面から前面へ引き出す。
3. 電線の被覆を15mmむく。
4. 電線の色を確かめ、端子盤のそれぞれの挿入口より奥にあたるまで確実に差し込む。
5. 確実に電線が挿入されているか確認窓で確かめる。
6. 電線を引っ張り、抜けないことを確かめた後、電線止め具で電線を固定する。
7. サービスぶたを取り付ける。

◆配線工事およびアース工事については、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

#### ■サービスぶたの取外しかた

ネジを取り外し、サービスぶたを取り外す。

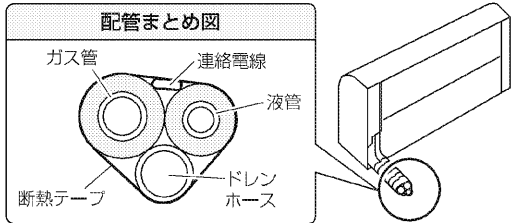


「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って配線を行うこと。

# STEP4 室内ユニットの据付け つづき

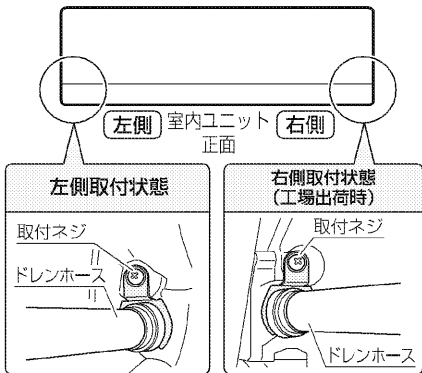
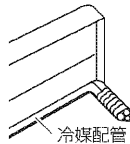
## 4 配管、ドレンホース、電線を引き回す

1. 配管、ドレンホース、連絡電線を引き回す。  
◆ドレンホースは必ず下り勾配にしてください。
2. 配管、ドレンホース、連絡電線は、断熱テープでまとめて巻く。



### 左後配管の場合

- ドレンプラグとドレンホースを付け替える。
  - ①右側の取付ネジを外してドレンホースを抜き取る。
  - ②左側にあるドレンプラグを抜き取り、右側に取り付ける。
  - ③ドレンホースを差し込んで、取付ネジで取り付ける。
- ◆ドレンホースは室内ユニット背面にあります。

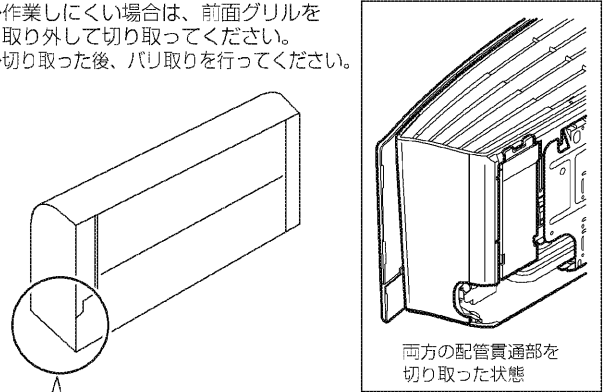


■ドレンプラグの付けかた  
差し込み時、潤滑油(冷凍機油)などを塗布しない。(塗布すると劣化し、水漏れの原因)

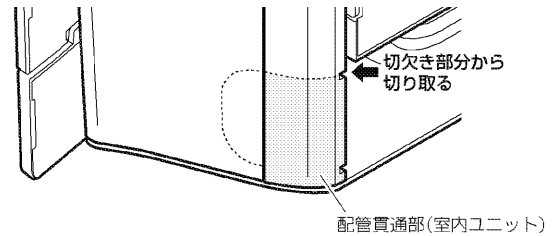
六角レンチ(対辺4mm)を使用して差し込む。

### 横配管の場合

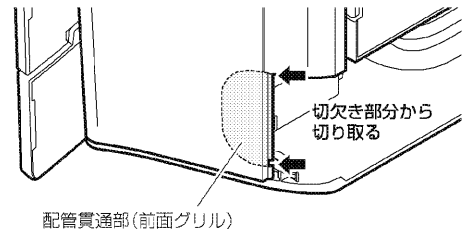
1. 前面グリルと室内ユニットの配管貫通部を切り取る。  
◆イラストは右横配管の場合です。  
◆作業しにくい場合は、前面グリルを取り外して切り取ってください。  
◆切り取った後、バリ取りを行ってください。



①室内ユニット側の配管貫通部を切欠き部分から切り取る。

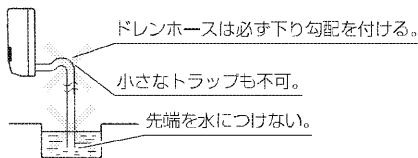


②前面グリル側の配管貫通部を切欠き部分から切り取る。

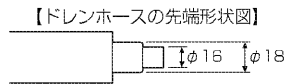


## ドレン工事について

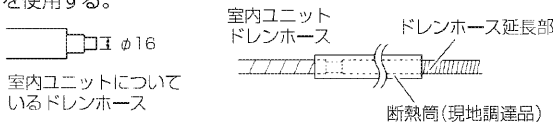
- ドレン工事は、特に次の点に注意する。



- ドレンホースの延長または埋め込み配管を行うときは先端形状にあった部材を使用する。

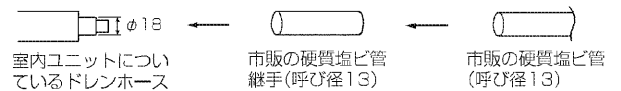


- ドレンホースを延長する場合は、内径16mmの市販の延長用ドレンホースを使用する。

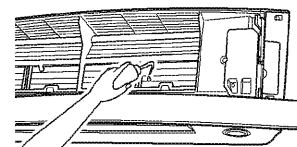


室内側にあるドレンホースの延長部は、必ず断熱する。また、延長部が抜けないう、引っ張り過ぎに注意する。

- 埋め込み配管などでドレンホースに直接硬質塩ビ管(呼び径13)を接続する場合は、市販の硬質塩ビ管継手(呼び径13)を使用する。



- ドレンチェックは、エアフィルターを外し、水を熱交換器に伝わらせてドレンパンにそそぎこみ、ドレンホースから水が流れ出ることを確認する。



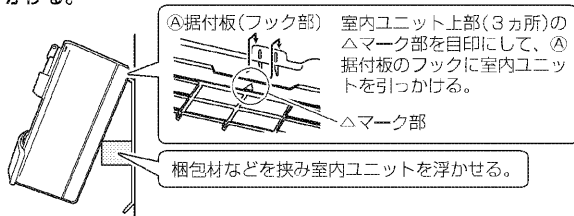
気密性の高い部屋で換気扇などを使用したときに異音(ポコポコ音)が発生する場合はドレンホース用逆止弁を使用する。(別売品: K-HDT1416を推奨)

## STEP4 室内ユニットの据付け つづき

### 5 室内ユニットを取り付ける

**注意** 前面パネルを持って本体を動かさないでください。

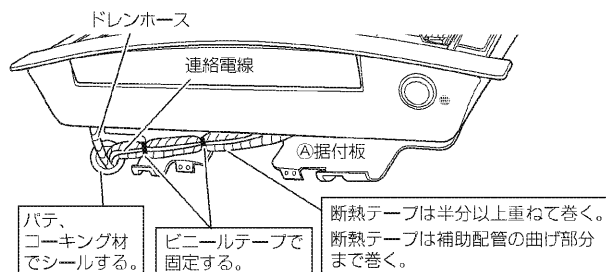
1. 配管類を壁貫通穴より引き出し、室内ユニット上部をA据付板に引っかける。



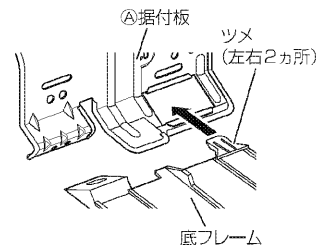
2. 配管を接続する。

◆必ず2丁スパナでトルクレンチを使用してください。(断熱方法と締付トルクについては、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。)

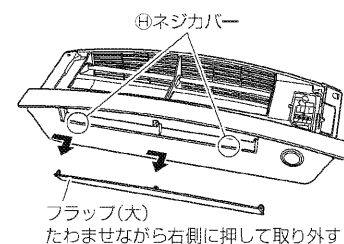
◆イラストは左後配管の場合です。



3. 底フレームのツメをA据付板に固定する。



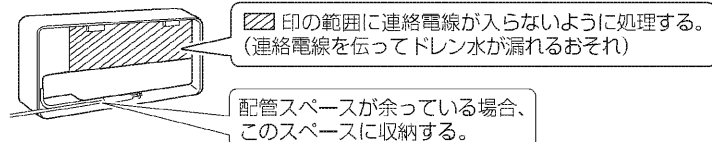
4. フラップ(大)を取り外し、Eネジカバーを取り付ける。(2カ所)



5. フラップ(大)を取り付ける。

#### 電線の処理について

連絡電線を挟まないよう注意しながら、室内ユニットの下部を両手で押しつけ、ツメに引っかける。ツメがA据付板に引っかからない場合は本体をネジ止める。(STEP7 固定強度向上についてを参照)



### 6 前面パネル(上)を取り付ける

**注意** 前面パネル(上)は手で押さえて閉じないでください。

1. 前面パネル(上)の左右の回転軸を室内ユニットの軸穴に合わせて取り付ける。

**パネル裏面のロックを下にスライドしてロックする。(左右2カ所)**

手で押さえて閉じないでください。部品が破損するおそれがあります。



2. リモコンを使って前面パネルを閉じる。

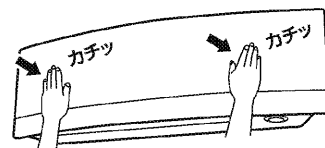
◆フラップ(小)が真下に向いていることを確認してください。

①ブレーカーを入れる。

②リモコンの(電源)を押して運転を開始し、前面パネル(上・下)が完全に開くまで待つ。

③もう一度リモコンの(電源)を押して運転を停止し、前面パネル(上・下)が完全に閉じたことを確認する。

④前面パネル(上)を「カチッ」と音がするまでゆっくり押さえる。



## STEP5 室外ユニットの据付け

◆室外ユニットの据付けについては、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

# STEP6 必要なときに

## HAシステム(遠隔制御機器)と接続する場合

前面グリルの取外しかた、取付けかた

### ■取外しかた

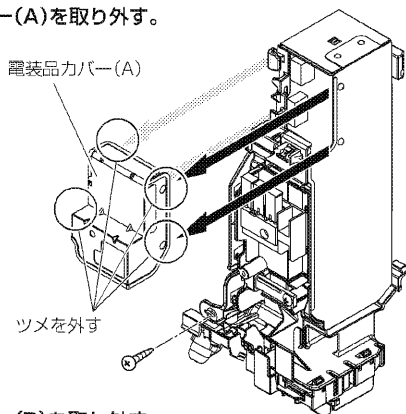
1. 前面パネル(上)とエアフィルターを取り外す。  
(STEP4 ②前面パネル(上)を取り外す を参照)
2. サービスぶたを取り外す。(STEP4 ③電線を接続する を参照)
3. 接続コードを固定具から外し、コネクタから取り外す。(1カ所)  
【図1】を参照。
4. 前面パネル(下)を止まる位置まで押し上げる。
5. フラップ(大)を取り外す。【図2】を参照。
6. ④ネジカバーを取り外す。(2カ所)【図3】を参照。
7. 前面グリルのネジ(4本)を外す。【図2】を参照。
8. 前面グリルを取り外す。【図4】を参照。
  - ①押し上げて上部のツメを外す。
  - ②手前に引き出す。

### ■取付けかた

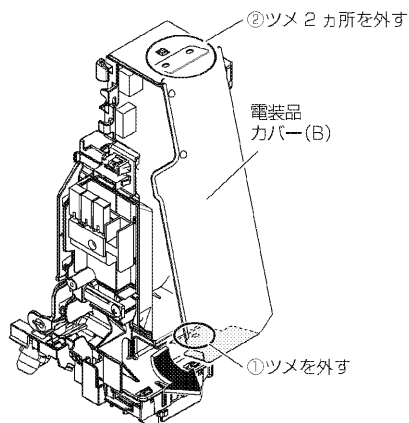
1. 前面グリルを取り付け、室内ユニット上部(3カ所)と左右側面(各2カ所)のフックに引っかける。
2. ネジ(4本)で締め付け、④ネジカバーを取り付ける。(2カ所)
3. フラップ(大)を取り付ける。
4. 前面パネル(下)を元の位置まで下ろす。
5. 接続コードをコネクタ(1カ所)に挿入し、固定具で止める。
6. サービスぶた、エアフィルター、前面パネル(上)を取り付ける。  
(STEP4 ③前面パネル(上)を取り付ける を参照)

HA接続コードの取付けかた

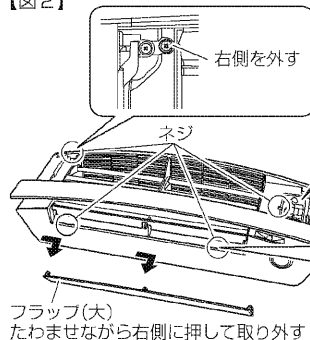
1. 前面パネル(上)と前面グリルを取り外す。
2. 電装品箱を取り外す。(ネジ1本)
3. 電装品カバー(A)を取り外す。



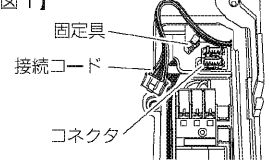
4. 電装品カバー(B)を取り外す。
  - ①下部のツメを外す。
  - ②上部のツメ(2カ所)を外す。



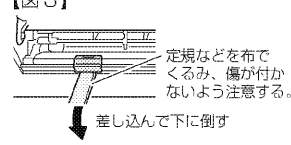
【図2】



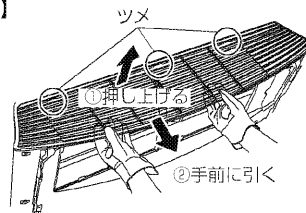
【図1】



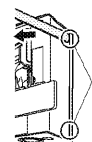
【図3】



【図4】



**注意**  
必ず保護用手袋を着用する。

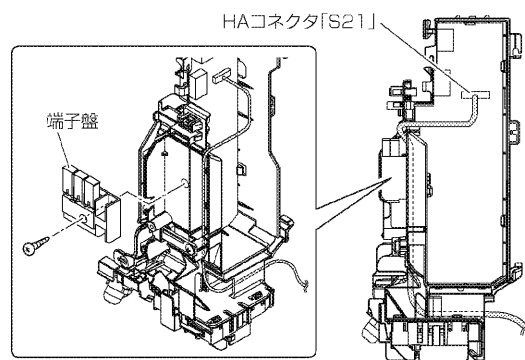


### ■取り外しにくい場合

室内ユニット側面の溝に、布でくるんだ定規などを差し込んで、内側に倒し側面のツメを外してください。(左右2カ所ずつ)

5. HA接続コードを取り付ける。

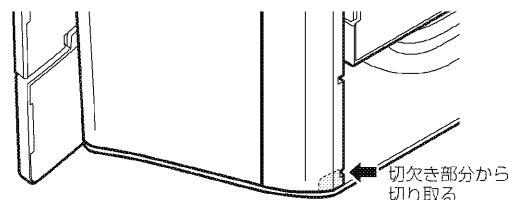
- ①HA接続コードをHAコネクタ「S21」(白色)に挿入する。
- ②端子盤を取り外し(ネジ1本)、HA接続コードを図のように引き回す。
- ③端子盤を取り付ける。



6. 電装品カバー(B)と電装品箱を取り付ける。
7. 前面グリルと前面パネル(上)を取り付ける。  
(STEP4 ③前面パネル(上)を取り付ける を参照)

### ■HA接続コードを室内ユニットの外に引き出す場合

- ◆室内ユニット側面の切欠きを切り取り、引き出してください。
- ◆イラストは右に引き出す場合です。



# STEP6 必要なときに つづき

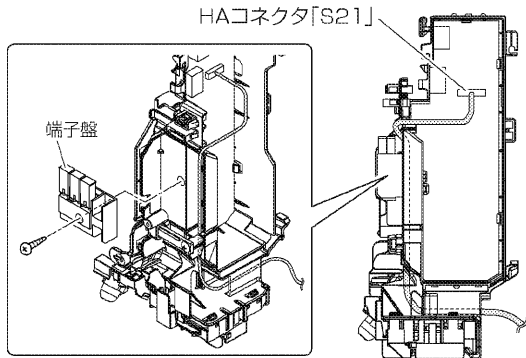
## 無線LAN接続アダプターと接続する場合

◆前面パネル(上)と前面グリル、電装品箱・カバーの取外し、取付けについては、それぞれ下記を参照してください。

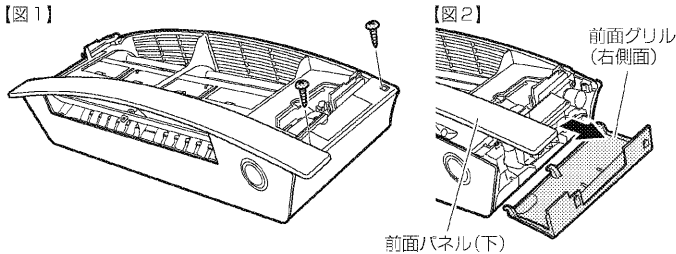
STEP4 ②前面パネル(上)を取り外す

STEP6 無線LAN接続アダプターと接続する場合

1. 前面パネル(上)と前面グリルを取り外す。
2. 電装品箱、電装品カバー(A)(B)を取り外す。
3. 無線LAN接続アダプターの接続コードを取り付ける。
  - ①接続コードをHAコネクタ「S21」(白色)に挿入する。
  - ②端子盤を取り外し(ネジ1本)、接続コードを図のように引き回す。
  - ③端子盤を取り付ける。

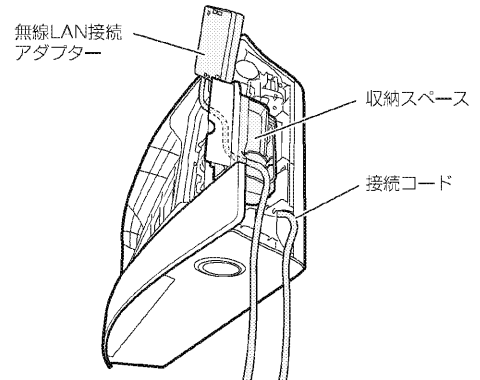


4. 電装品カバー(B)(A)と電装品箱を取り付ける。
5. 前面グリルを取付ける。
6. 前面グリル(右側面)のネジ2本を取り外す。【図1】を参照。
7. 前面パネル(下)を止まる位置まで押し上げ、前面グリル(右側面)を取り外す。【図2】を参照。

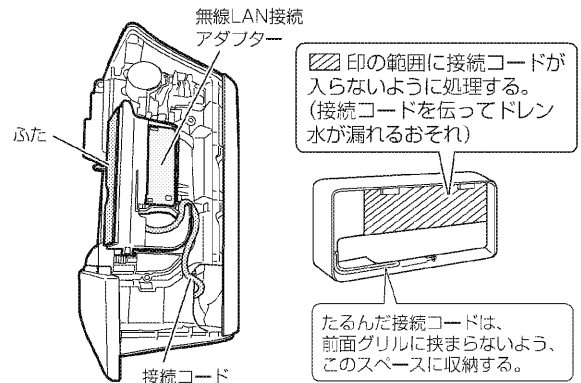


8. 引き出した接続コードを収納スペース下部から通して、無線LAN接続アダプターに接続する。

◆接続方法は無線LAN接続アダプターの据付説明書を参照してください。



9. アダプターを収納スペースに収めてふたを閉める。
10. 接続コードを図のように引き回す。



11. 前面グリル(右側面)と前面パネル(上)を取り付ける。(STEP4 ⑥前面パネル(上)を取り付けるを参照)

## 同じ部屋に室内ユニットを2台設置する場合

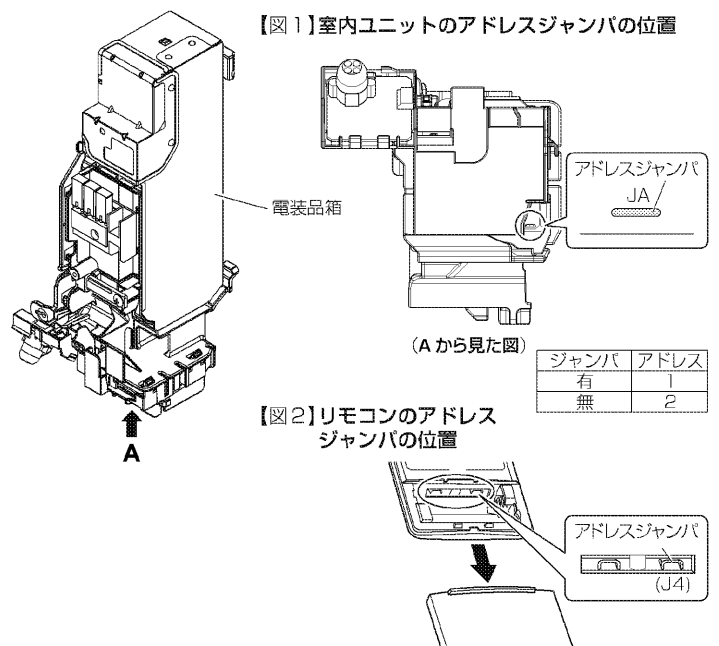
◆同じ部屋に室内ユニットを2台設置される場合、2台のうちどちらか一方のアドレスを設定変更してください。ジャンパカット時には、周囲の部品を傷つけたり、別のジャンパを切断しないよう注意してください。

◆前面パネル(上)と前面グリル、電装品箱・カバーの取外し、取付けについては、それぞれ下記を参照してください。

STEP4 ②前面パネル(上)を取り外す

STEP6 無線LAN接続アダプターと接続する場合

1. 前面パネル(上)と前面グリルを取り外す。
2. アドレスジャンパ(JA)を切断する。【図1】を参照
3. リモコンのふたを外し、アドレスジャンパ(J4)を切断する。【図2】を参照
4. リモコンのふたを取り付ける。
5. 前面グリルと前面パネル(上)を取り付ける。



# STEP6 必要なときに つづき

## エアコンの移設や修理、廃棄するとき ポンプダウン運転

- ◆家電リサイクル法により、冷媒フロン回収を実施します。  
撤去時にはポンプダウンの上、閉鎖弁をしっかりと閉めて指定引き取り場所に持ち込んでください。
- ◆ポンプダウン運転については、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

### フロンについて

#### R32冷媒

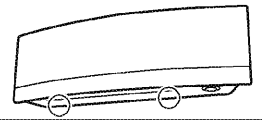


家庭用エアコンにはGWP(地球温暖化係数)が675のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等に当たってはフロン類の回収が必要です。

この表示は家庭用エアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを注意喚起するための表示です。

### 室内ユニットの取外しかた

- ◆指で室内ユニットの下面を押し上げると据付板から外れます。(ネジカバー取付位置の奥部分2カ所)



# STEP7 試運転と確認

## 試運転を行う ◆室外ユニットの試運転については、マルチ室外ユニットに付属の据付説明書に従ってください。

### 試運転前に前面グリルや各フィルターを必ず取り付ける。

- ◆試運転は必ず冷房または暖房運転のどちらかで行ってください。
- 1. 電源電圧を測定し、仕様通りか確認する。
- 2. 冷房運転のときは設定温度を一番低い温度に、暖房運転のときは一番高い温度に合わせる。
- 3. 取扱説明書をもとに運転操作を行い、異常なく作動することを確認する。  
◆停止後3分間は製品保護のため運転しません。
- 4. 試運転後は適切な温度(冷房の場合26~28℃、暖房の場合20~22℃)に戻す。
- ◆冬季に冷房運転をするなどの場合は、次の方法で試運転モードにして行ってください。

- ① を押し、運転を開始する。
- ② 、 を3つ同時に押す。
- ③ を押し、 を選択し、 を押す。

- ◆試運転モードは約30分で終了し、自動的に停止します。  
強制的に試運転を終了させたいときは を押してください。

- ◆試運転モードでは、一部の機能が使用できません。

試運転がエラーで停止した場合(室内ユニットのマルチモニターランプが点滅)

- ◆スマートフォンで、リモコンでの「エラーコードの確認方法」および「エラーコードの内容確認」が検索できます。

URLはこちら (右記二次元バーコードからも読み取って参照できます。)

[https://www.daikincc.com/errorcode\\_search.asp?bop=b](https://www.daikincc.com/errorcode_search.asp?bop=b)



### 据付工事後に、必ず確認してください。

確認項目  チェック項目  欄でチェック(☑)をしてください。

番号	チェック項目	不良の場合
1	<input type="checkbox"/> 室内外ユニットはしっかり据え付けられているか?	落下、振動、騒音
2	<input type="checkbox"/> ガス漏れ検査は行ったか?	冷えない、暖まらない
3	<input type="checkbox"/> 断熱は完全に行ったか?(ガス管、液管、室内側のドレンホース延長部)	水漏れ
4	<input type="checkbox"/> 室内ユニットのドレン排水のチェックをしたか?	水漏れ
5	<input type="checkbox"/> 室外ユニットのドレン工事が必要かお客様に確認したか?	室外ユニット底面穴からのドレン水の滴下
6	<input type="checkbox"/> 換気扇などを使用した場合、ドレンホースから異音(ポコポコ音)はしないか?	騒音(別売品ドレンホース用逆止弁使用)
7	<input type="checkbox"/> アース線の接続は確実か?	感電の危険
8	<input type="checkbox"/> 「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電線は正しく接続したか?(電線の仕様、接続箇所)	運転不能、焼損、運転ランプが点滅
9	<input type="checkbox"/> 室内外ユニットの吸込口、吹出口が障害物でふさがっていないか?	冷えない、暖まらない
10	<input type="checkbox"/> 閉鎖弁は開いているか?	冷えない、暖まらない
11	<input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコンの送受信は確認したか?	運転不能
12	<input type="checkbox"/> アドレスの設定は確認したか?	運転不能

### 固定強度向上について

- ◆固定強度向上のため、室内ユニットを④据付板にネジ止めすることをおすすめします。  
①前面パネル(上)と前面グリルを取り外す。  
取外しかたは下記を参照してください。

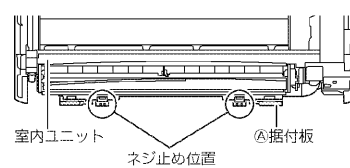
#### STEP6 HAシステム(遠隔制御機器)と接続する場合

##### 前面グリルの取外しかた、取付けかた

- ②室内ユニットを③室内ユニット固定ネジでネジ止める。
- ③前面グリルと前面パネル(上)を取り付ける。

##### ■ネジ止め位置

[正面図]



[断面拡大図]



ネジ止めを行う  
④室内ユニット固定ネジ  
(M4×12L)  
(2カ所)

機種名	製造番号	据付年月日	据付担当サイン欄

◆この据付説明書は、取扱説明書と一緒に必ず保管してください。(据付工事後、お客様にお渡しく下さい)

3P438858-1